

新年のご挨拶

院長 久保 俊英

あけましておめでとうございます。旧年中は多方面にわたり、ご指導ご支援を賜りましたことに、職員一同厚く御礼申し上げます。

昨年も全国で自然災害が猛威を振るった1年でありました。特に台風19号による千葉県での激甚災害は記憶に新しいところです。幸い、岡山県では一昨年の西日本豪雨のような甚大な被害こそありませんでしたが、8月の台風10号や9月の新見市での大雨被害などで、たくさんの方が被災されました。被害にあわれた皆様には心からお見舞い申し上げます。

当院は岡山県から災害拠点病院に指定されておりますので、被災地域への応援体制や被災患者さんの受け入れ態勢を整えてはおりますが、想定外の事態が生じるのは常であり、今後も更に充実した災害対応体制の確立を図っていきたいと考えています。一方、10月末には岡山県における原子力災害拠点病院にも指定されました。あつてはならないことですが、島根原子力発電所が被災した場合を想定し、研修や機器の整備を進めているところです。

医療面においては、がんゲノム医療中核拠点病院である岡山大学病院様からの要請もあり、岡山市内では初のがんゲノム医療連携病院の指定を目指して準備を進めているところです。益々がん診療に注力していく所存です。

他方、地域医療構想、医師の偏在問題や医師の働き方改革も大きくクローズアップされてきました。当院では、地域から求められている高度急性期・急性期医療の継続を柱としながらも、医師不足の地域への診療応援などで地域医療の充実に貢献してまいりたいと思います。医師の過重労働是正については、皆さま方にもご協力をお願いしなければならなくなると思いますので、よろしく願いいたします。

本年が、皆さま方にとりまして実り多い1年となりますことをご祈念申し上げますとともに、本年もよろしくご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。